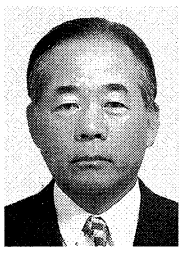
たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

期のはじめに



五五期を締めました。事故もなく安全施工で新しい期を迎えました事、心より喜んでいます。

建設業にとりまして事業環境は建設資材費の高騰で民間投資の延期も目立ちました。また、公共事業におきましてはコロナ禍という中で発注遅れが相次ぎ厳しい冬の時代、まさに夜明け前の薄明りの中という思いの一年でした。

現在五五期鋭意精査中ですが、完工は目標に届かないのではと思っています。収益につきましては、どうにか前期並みと見通しています。建設事情を考慮すれば、職員の頑張りに心から敬意を表する次第です。

何度も話したり記したりもしてきましたが、太洋の期首二月は梅が蕾を付ける一年で最も寒い時に始まります。日々暖かくなり春の喜びを得るように業績も季節と同じく春の恵みを実感したいものです。新年号でもふれましたが、萩原朔太郎の竹という詩の一節に

かたき地面に竹が生え
地上にするどく竹が生え
まっしぐらに竹が生え
凍れる節節りんりんと
青空のもとに竹が生え

とあるように竹を代表する孟宗は、伸びる時は一日で一メートル以上伸びると言います。創業六五年、伸ばす時は一気に伸ばし一〇〇年企業づくりに励みたいものです。

コロナ禍でマスク着用がすっかり定着しました。真っ白な色は味気も洒落っ気もなく、多様性の時代にファッション性もあって良いのではと私自身も白地のマスクにスケッチをしてみました。俺は飛ぶんだ、みんなで挑戦し高く飛ぶんだと飛魚の絵を描いたり、年始用にと凧の絵を志高く天高く舞い上がろうという気持ちで描いていました。

今期五月を迎えますと創立六五年佳節の年を迎えます。創立記念日のお祝いも東京支店で準備してきましたが、やはりコロナで延期、三年目の正直と言いたいところですが、準備、中止等、支店の負担は大きく、今期更に東京支店にご足労かける事に忍びなく、進めるのも退くのも本社、名古屋支店なら少しは人材の余裕もあり、今年は本社、名古屋支店で進めることになりました。一つひとつ節を大切に前に進むことは、業績確保、一〇〇年企業にとって必要不可欠。会社の誕生日を全店で祝いたいと開催を期待しています。

今期の見通しにつきましては、唯一欠損支店九州、北九州、沖縄、工法の変更が認められ大型工事化し今期の完工が見えています。他にも当社独自工法の設計折込営業が数件実りつつあります。完工が伸びれば収益がついてくる鉄則で、やっと九州に春が来ると期待大としているところです。残す五支店、どこからも点が取れる体制は万全、六支店で収益ゲット楽しい限りです。

建築事業部、市中心部に中高層ビル一四階建て一月一七日着工式を済ませ土木建築の建設会社として全店に希望を与えています。

研究開発室、数多くの成果が見えてきています。これだけ数多くのビジネスチャンスがあれば施工管理は太洋の一八番、安全施工、良質施工で創業六五年を飾るでしょう。全店の施工を支える神守研究開発センター、七月には最新鋭の重機が納入されます。当機の参入で深層地盤改良、地中埋設物撤去工事、地中の事ならお客様の期待に答えられる太洋と言われる事でしょう。

先に夜明け前の薄明りと記しましたが、新しい期は、午前八時太陽の光輝く、力強く、心弾む期となると信じています。

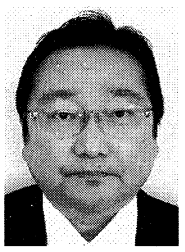
後で知りましたが、生死の境で病と闘っている折、ハワイで開催されました男子プロゴルフ米ツアーのソニーオープンで松山英樹が最終日五打差を追い上げプレーオフでイーグルを決め清々しい新年初勝利。太洋の門出を祝ってくれたのか我らも期待に応え良い一年をスタートしなくてはならないと考えたりしました。

坂本九が唄っています。上を向いて歩こう…建設を通して社会貢献、志高く上を向いて社業に励みましょう。

水前寺清子が唄っています。幸せは歩いてこない、だから歩いて行くんだよ…。向こうからは来ない自分の足で歩いて行くのみ。一日一歩、三日で三歩、三歩進んで二歩下がる…。獅子はどんな獲物にもとどめは三歩下がって全力で全力ゲット。仏典の中にある前三後一という教えです。どんな小さな仕事もあなどらず大切に獅子のように最後は力勝負と希望の期を歩いて行きたいものです。

（追）期の始めにを締めるのに編集しているスタッフからスペースに余裕があるのでもう少し書いて下さいと依頼がありました。このコーナーにはふさわしくないかもと思い悩みましたが、年末年始ひどく体調を崩し、お正月多くの来訪者がありましたが全く無様な状態で対応する事になり、人によっては顧問もこれまでかと思った方も多かったと思います。生まれてから少々のことにはへこたれない精神力、生命力を持ち合わせていると思ってきましたが、今度ばかりはもう死んでもよいと何度も死が浮かんできました。心配して下さった多くの方に九死に一生を得ました、快方に向かっていますと報告の意味を込め記しました。一ヶ月間サポートして頂いた命の恩人ともいう人に感謝して今後の晩生をお約束する意味も含め文と致しました。今回の経験をもとに健康第一を信条と致します。

顧問　豊住　満



二月北京五輪が華やかに開幕しました。競技の参加に際しコロナ禍で体調管理や練習等かなり不憫な思いをされた事と思います。全力が出せる様すべてのアスリートの皆さんへエールを送ります。

新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株感染拡大により、第六波は過去の記録を更新する感染者数となっております。毒性が弱まったと言われておりますが、高齢の方や基礎疾患のある方が感染すると命を脅かす事に繋がりますので、皆様感染防止対策は欠かさずお願い申し上げます。今後もオミクロン株に継ぐ新たな変異株の発生が考えられるなど新型コロナとの戦いは続くと予想されます。三回目ワクチンの接種や治療薬開発などによる国内感染予防や治療の徹底などが、経済活動の停滞を防ぐことに繋がると思います。

二月より五六期がスタートしました。環境問題が世界的に取り上げられる中、企業の取組みも重要視されます。SDGs、持続可能な開発目標は十七の目標と一六九のターゲットで構成され国連サミットで二〇三〇年目標達成を掲げています。現在当社で取組んでいる一部を紹介させて頂きます。

三、すべての人に健康と福祉を。安全運転管理者を配置し、運転日誌やドライブレコーダーの設置で交通事故防止に努めています。また土壌汚染対策として各種土留壁工法や地盤改良工法で対応しております。新型コロナウイルス感染防止対策もここに含まれます。

四、質の高い教育をみんなに。

各種研修会の開催や資格取得の奨励、男女平等をモットーに女性現場管理者の育成等を行っております。

五、ジェンダー平等を実現しよう。（十、不平等をなくそう）男女や国籍の差別なく就業時に技術系か事務系の選択が可能で給与等も社内基準で統一され、働いて良かったと言える職場づくりを目指しております。

七、エネルギーをみんなに、そしてクリーンに。

神守研究開発センターへ二基、三重県菰野町へ一基、合計一〇五八キロワットの太陽光発電設備を設置しております。また、車両は全車ハイブリット車の導入を目指しております。

八、働きがいも経済成長も。

持続的な成長を目指すため、常に新しい技術の開発をモットーに各取締役が課題別にリーダーとなって活動する研究開発室を設置しています。また相談できる環境を整え働きやすい職場づくりを目指しております。

九、産業と技術革新の基盤をつくろう。

インフラ整備に向けて多くの営業工種を有しております。またベトナム国での事業として防災堤防の早期実現に向けて準備中です。

十一、住み続けられるまちづくりを。

本社地元の常盤学区へ災害時に役立ててもらおうと災害用毛布や断水時に利用できる浅井戸の寄贈、平日早朝は本社周辺の清掃活動を行っております。また交通網や法面など持続可能な安全性改善に各種営業工種で貢献しております。河川環境改善を目的としたベトナム事業もその一つです。

十二、つくる責任つかう責任。

産業廃棄物低減に気泡安定液掘削工法が役立っております。また建設発生土再利用には回転式破砕混合工法が有効です。

十三、気候変動に具体的な政策を。

カーボンニュートラルに向けて太陽光発電、風力発電、地中熱発電に注力すると共に、ハイブリッド車の導入や省エネ活動も行っております。

十五、陸の豊かさも守ろう。

自然環境との共生を目的に植樹活動を行っており、環境大臣賞を受賞したNPO法人沙漠緑化ナゴヤや長野県千曲市で協働の森づくりに参画しております。

十六、平和と公正をすべての人に。

地域の治安維持の為、本社周辺に防犯カメラの寄贈や愛知県防犯協会連合会、名古屋市中川区建設業防犯協会、愛知県住宅防犯対策協議会等に社会奉仕として参画しております。

十七、パートナーシップで目標を達成しよう。

グローバル・パートナーシップを目指すべくベトナム事業を準備中です。

重複する所もありますが、SDGsの取組みを通して社会に存在価値のある職場づくりを目指しております。

二〇二二年度建設投資の見通しは六二兆九九〇〇億円と前年度とほぼ同水準と予測されていますが、その中で政府建設投資と住宅投資は微減、非住宅投資は三．九％増と予想されています。コロナ禍で大きな影響を受けなければ昨年度とほぼ同水準の発注が見込めると考えております。受注あっての売上高です。今期は受注活動強化になお一層注力し、二月下旬の営業研修会で弾みを付けて売上高一五〇億円達成のリベンジを目指します。

災害に強い国づくりを目指す国土強靭化は五か年加速化対策として令和七年まで計画されております。地震、風水害、火山噴火など災害に対して被害の抑制と早期復興は建設業の使命です。SDGsに関連しますが、持続可能な社会の実現に向けて建設業界は重要な役割を背負っています。未来を変えて行けると言っても過言ではありません。経営理念である働いて良かったと言える職場づくり、社会に存在価値のある職場づくり、経営スローガンである建設で拓く豊かな都市づくり、職域で自己を磨く人こそ建設人、以上、太洋のパーパスを熱く保ち、成熟企業百年企業を目指すと共に企業価値を高めてまいります。

代表取締役社長
加藤　行正

最前線レポート

工事名
猿島公園トイレ新設工事

工事場所
神奈川県横須賀市
猿島一番地

発注者
横須賀市都市部公共建築課

請負社　株式会社　片山建設

工事内容
柱列式連続壁工事
（ソイルセメントコラム工法）
山留工事

設計数量
Φ五〇〇㎜×L三・九ｍ×
一五六本

配合量　二五〇kg/㎥

使用固化材量　三四・〇ｔｏｎ

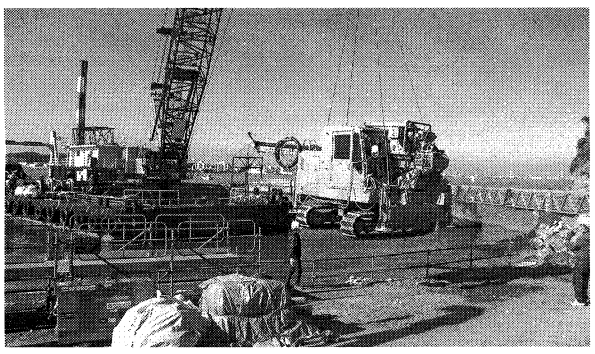
建て込み芯材
Ｈ-二五〇×二五〇ｔ
×一四㎜×九㎜
L三・六ｍ×五二本

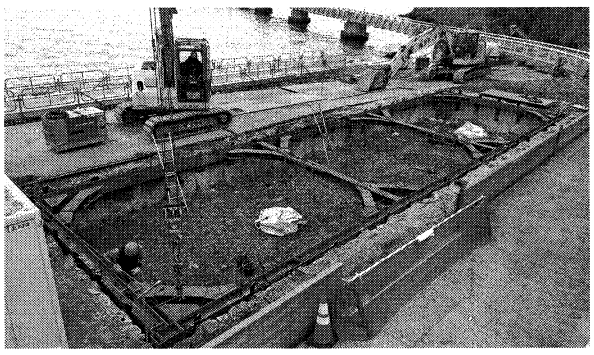
工事概要
猿島公園トイレ新設工事の排水再利用装置設置に伴う土留壁築造工事及び山留工事

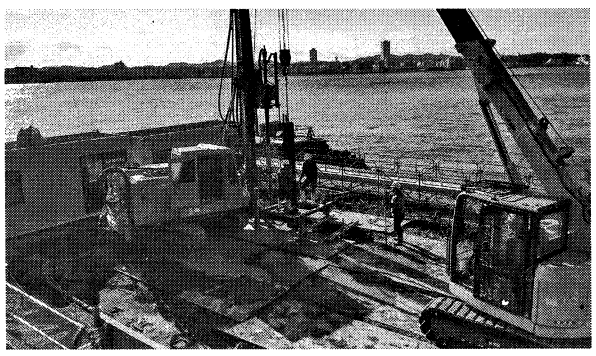
猿島の歴史故の事業目的
猿島は貴重な自然林と旧陸海軍の要塞跡が残る国の史跡であり観光客も多く訪れます。近年の来園者増加に伴い管理棟内の既設トイレの浄化能力が不足していることにより新たなトイレ増設が計画されました。地名の由来は一二五三年、日蓮大聖人が千葉の房総から鎌倉へ海を渡る途中に嵐に遭遇し、避難した島であります。この時に一匹の白猿が現れ陸地の方向を指さし、日蓮大聖人はこの島から去り陸へ行けということだと思い再び陸へ向かったということです。これが猿島（去島）とも言われる由来だそうです。自然豊かな猿島は、縄文・弥生時代の遺跡や江戸・明治・昭和の要塞島としての歴史的な建築物が残っています。軍事的防衛施設として構築されており、岸壁を掘り込んでいるので島外からは全く見えない首都防衛拠点となっていたようです。現在では観光地として整備されていますが所々長い年月を経て草や木の枝に浸食されている人工物が神秘的であり、まるで宮崎アニメ監督作のジブリ作品にも感じられます。まさに魅力ある歴史遺産を引継ぐ故の事業目的だと思います。

工事内容
離島故に工事に係る重機.資機材等の搬入出は全てクレーン付台船での運搬となりました。
当然ですが台船も天候に左右される為、出航しないことがあります。この事態に備える為に積込みを行う港に予め重機や資機材を仮置きする必要があります。そしてクレーン付台船は一五〇ｔベースであり、機械能力内での安全な作業となりますが揚重中は船が左右に揺れるので気味が悪い印象です。
地盤構成としては砂質土・泥岩層であることは認識しておりましたが事前地盤調査資料が不足していることから改良長が暫定的でした。この事から元請様より大型バックホウでの試掘を実施して頂き、泥岩層を確認する事で施工量の変更を発注者様と協議して頂きました。

実施工に於いては施工箇所に地中障害物が発見されバックホウにて掘削除去をしてからとなり、予定外作業で悩まされました。おそらく当時の施設を建築した時の地業かと思われる泥岩グリが敷設されており連続壁を施工するには障害でしかありません。
除去が完了している箇所から連続壁を施工し障害物がありそうな箇所は同時進行にて掘削を行いました。場内は狭い状態でありながらも作業ヤードを明確に分割し各自が積極的に役割を実施してくれたおかげで安全に進行出来ました。Ｈ型鋼芯材の建込みに於いては、改良直後のテーブルフロー値も規定内で納まり、問題無く挿入出来たので精度の良い綺麗な仕上がりとなりました。また、元請様からは朝と夕方の出航時間の調整、作業時間の改善をして頂きました。これにより遅れた工程を取り戻せたこと、年内に地中連続壁の施工が完了出来ましたこと、誠にありがとうございました。年明けには台船に重機・機材を積込み搬出。同時に次工程の山留部材の搬入を終わらせ、一次掘削後に山留業者様と腹起し切梁の設置を実施し、山留工事が無事完了致しました。
このような歴史ある島で工事に従事できたことは弊社、協力会社含め誠に光栄と思います。







まだ山留撤去工事が残っていますが安全第一で頑張っていきますので引き続き宜しくお願い致します。

東京支店　環境開発部
課長　本間　亮一

声援

桃の節句も近づき、いよいよ春の到来です。五六期がスタートし、新たなチャレンジへの始まりです。現場で従事されている方はまだ現場は寒くて「春が来た」なんて気分にならないとおっしゃられる方もおられるでしょう。それもそのはず、この冬はラニーニャ（同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く）現象の影響で偏西風が蛇行し、黄海から朝鮮半島にわたり寒気が流れ込み、冬型の気圧配置となり寒波が何度も襲来しました。そのため、現場では雪かきからの始業や、水道設備の凍結もあり現場の皆様にとっては大変ご苦労なさったことでしょう。
一方で、新型コロナウイルス感染症においては、デルタ株からオミクロン株へと変異し、重症化はし難いものの新規感染者は増加の一途を辿っています。また、緊急事態宣言が発令され始めるとさらなる消費者の購買意欲を減退させ、仕事や経済への影響が懸念されます。ここ、山陽営業所は兵庫県の県庁所在地、神戸市に営業所を構えております。私たちはこの人流が多い中、仕事上だけでなく私生活においても個人の感染防止対策や行動自粛の判断が求められ、その影響を大きく受けるエリアであることは間違いありません。そして、なんといっても会食が制限されていることは私たちにとってコミュニケーション障害を引き起こす原因になることを危惧しております。おいしいものを食べ、おいしいお酒を飲むことは同じ空間の中で、飲食という行動を共にし個々の感情を表現すること。そこで私は、人と人とが共感し、コミュニケーションが図れると考えております。この会食では、経験年数や老若男女問わず嗜好、趣味や特技、自分の意思が主張できるチャンスでもあります。また、個々が理解し合える場所でもあります。本当に、このコロナ禍が一日でも早く収束することを願うばかりです。
昨年、私は四月に山陽営業所に着任しました。この世情の中、不安な気持ちでいっぱいでしたが、山陽営業所員、協力業者の皆様のご協力によりこの度、無事二期目を迎えることができました。紙面をお借りして御礼申し上げます。
最後に、私はこの約一年間を振り返り、この営業所で無事に務めを果たすことができるか、不安ばかり感じて新しい挑戦を躊躇しておりました。しかし、キングコング（お笑い芸人）西野さんによる近大の卒業式でスピーチを聞いて新たに今期また奮起しようと勇気が湧きましたので、その一部をご紹介させていただきます。
「失敗や挫折があっても、それは間もなく過去となり、私たちは過去を書き換えることができる。失敗というのはその瞬間に止まってしまうから失敗なわけであって、その失敗を受け入れてアップデートして、試行錯誤を続けて成功するまで続けてしまえばあのときの失敗が必要だったと私たちは知ります。つまり、理論上は失敗なんて世の中に存在しないわけです。このことを受けて私から皆さんへ贈りたい言葉は一つだけです。挑戦してください。」
このスピーチのとおり、五六期は「挑戦」をスローガンに営業所一同邁進してまいります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いします。

山陽営業所
所長　柴原　浩介

社長室だより
月間ＭＶＰ賞

受賞者
埼玉営業所
所長　坂井　玲次郎　殿
主任　松本　智代　殿

この度、積和建設東京株式会社　三浦社長様より永年勤続社長表彰を頂きました。よって月間ＭＶＰ賞に推薦いたします。

推薦者
東京支店
副支店長　鍋嶋　直樹

月間ＭＶＰ賞は当社職員だけでなく協力会社の皆様も表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者がでることを期待しています。

代表取締役社長
加藤　行正

共済会だより

☆退職された職員
お疲れ様でした
一月一六日
田中　忍
名古屋支店　営業部
一月二五日
ルウ　ズイナム
九州支店　工事部
一月三一日
溝口　建
九州支店　工事部
野下　隆雅
名古屋支店　営業部
徐　志軍
建築事業部

☆お悔やみ申し上げます
二月一二日
故　樋口　久　ご尊父
東京支店　営業部
樋口　高峰
合　掌